

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

年金者部会のみなさん

新しい年が明けました。

気持ち新たに今年も
精一杯頑張りましょう。

昨年末の総選挙は、自
民党圧勝といわれる結果
となりましたが、国民が
本当に望んだことなので
でしょうか？ 決してそう
ではないと思います。国民生活に直結する課題大
多数の国民が望んでいる問題には何一つ解決の道筋
すら示せないのが現状です。

民主党が大敗北したのは、国民との約束を果た
さず公約違反を重ねてしまった結果です。
自民党政治の枠を出られず、国民の声は聞かず、
財界とアメリカにのみ顔を向け続けた自らがつくっ
た結果だと思っています。

今の社会状況のなかで私たちは何をすべきでしょ
うか？ まず私たちが結集する「ちぎんしがの会」
が何でも話し合えて楽しい組織にすることが大切
だと思っています。その為に自分で出来ることから頑張
りたいと思います。

年金者部会長 和田 一郎



早春の伊吹山

「ちぎんしがの会」発会総会は6月2日に大津で！

月日
場所

六月二日(日)
びわ湖大津館
(旧琵琶湖ホテル)

「ちぎんしがの会」は、
昨年6月2日(土)のグ
ランドゴルフの案内はが
きで結成の提案し、年金
者部会員全員の賛成で結
成されました。10月の年
金者部会総会で『発会の
総会を兼ねた懇親会』を
今年6月2日(日)に開く
ことが決まりました。

1月22日の世話役会で、
場所と内容について話し
合い、従業員組合創立50
年の記念集会を行った
「琵琶湖ホテル」の跡地
にある「びわ湖大津館」
で開く事になりました。



「ちぎんしがの会」発会
総会兼懇親会には、従組
員で退職したOBだけで
なく、解決の喜びを分か
ち合った仲間、途中退職
された方や職場で支えて
下さった労働者にもよび
かけ、当時を偲び、楽し
い一日になるよう企画し
たいと思います。

万障繰り合わせてのご
参加と楽しい企画の提案
をよろしくお願いいたし
ます。

わたしの近況③

転居いたしました。

寺田 源 吾
登代子

まだ落ち着きません。正月から
の予定が2月の初めから住むこと
になりました。「滋賀県蒲生郡日
野町内池」。誕生から70数年住み
慣れた草津の地を離れてここにやっ
てまいりました。

息子たちは、草津を含めてあち
こちを見て回っていたようです。
栗東・信楽・甲西・守山などの紹
介された土地を。とにかく自然環
境の気にいる土地を求めて。そし
てたどりついたのが「日野町」。
息子夫婦は共働き生活。孫は1
年生をトップに3人。

わたしたち夫婦はいつまでも元
気なままで生きていけるというこ
とは考えられません。この機会に
何とか双方が思いをぶつけて同
居生活を選びました。初めての地
での不安があります。買い物や病
気のことなども。ここは気持ち
一新しての人生の再々スタートと
なります。家族7人はお互いを尊
重し譲り合つての生活です。

近江鉄道日野駅から徒歩で10分。
お寺と神社の近くでも静かな
ところですよ。お近くにお越しの際
にはぜひお立ち寄りください。
これからもどうぞよろしくお願
いいたします。

「ちぎんの会」参加者が 東日本大震災の被災地(東松島市、石巻市、女川町)を訪問

昨年10月17日・18日宮城県松島で開かれた「ちぎんの会」2日目の東日本大震災の被災地訪問について報告します。参加者は所用で松島を離れた数名を除く70数名の訪問となりました。七十七銀行女川支店では、外勤の女性行員1名を除いて店内にいた行員全員が犠牲となった女川町まで石巻市を経てバス2台に分乗して出発しました。

(三橋)

★松島町

「ちぎんの会」の会場となった松島町は、松島湾の島々によって津波のエネルギーが削がれ、瑞巖寺参道まで水位が1〜2m上昇しただけですみ、家は流されず大きな被害にはならなかつた。

★東松島市野蒜(のびる)地区

松島町の隣、

★同市大曲浜地区・航空自衛隊松島基地

大曲浜地区は全滅。航空自衛隊松島基地の拡張で立ち退

き話があり、虫食いの順次施設局が買収していた。住宅はばらばらと建っているが周りは二夏が過ぎ、雑草が生い茂っている。目の前が海で海苔の養殖が盛んな浜だった。

★石巻市立門脇小学校

3階建て鉄筋コンクリートづくりの校舎は、2階まで津波で窓は抜け、3階は、同小学校が避難所となっていたた



め、避難してきた避難民などの車から漏れた燃料に引火し火災。避難民も二次被害で更に裏山(日和山公園)に避難する。教室は3月11日当時のまま残されている。1階と2階は津波で窓が抜け、3階は黒焦げという異様な建物が残っている。ここで昼食となり、当地の新婦人の人たちが中心となりつくられた弁当をバスの中でいただく。

石巻市日和山公園から石巻市の被災状況を視察

日和山公園から石巻市の被災地が一望できた。旧石狩川の右岸は、市立病院の建物だけが残っているという異様な風景。左岸には残っている民家が見えました。左岸には防波堤が二つあったが右岸にはなく、病院の周辺を含む市街地の民家がすべて津波にのまれてしまった。女川町へ向かう旧北上川河口近くにかかる日和大橋を渡ったが、震災当日、津波が橋の橋梁を越え多くの車が流されたとのこと。

★女川町

女川へ向かう石巻海岸線を走る道路の中央分離帯に植えられていた松並木は、塩水をかぶり枯れ、切り株道路になつてしまった。女川町でも湾内の万石浦に面した集落は、石巻市渡波の湾入り口が狭く津波を受けず被害はなし。牡鹿半島つけ根に位置する峠から見る女川町中心市街地は、高台にある町立病院とバングラデシュからの支援で建設中の冷凍冷蔵庫以外は、すべて更地となり市街地であったこと



がわかる道路のアスファルトだけが縦横にはしる異様な風景。高台の病院は海拔16m、2階まで水につかる。私の住む長浜市の旧市街地が一瞬にして消えた。と考えると自然の猛威に言葉なし。人類が受けた最大の自然災害です。被災地のみなさんはこの被害に果敢に立ち向かっています。私の2男が神戸の大学にいる時に阪神大震災に遭遇。何回も神戸に入りましたが、当時と比べて残骸の整理も、復興もあまりにも遅いと感じました。女川「きぼうの鐘」仮説商店街に立ち寄り帰路につきました。

中心市街地であった女川町の姿が目に焼き付いて今も離れません。